

芭蕉元禄事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成二十九年五月度 入選句（投稿総数二千六百五十五句・小中学投句数二千八句）

特選

チューリップ見るとかならず歌っちゃう 大垣市 加藤 心羽(小四)

昭和七年に発表された「チューリップ」の歌ほど日本人に愛されている歌はありません。―あかしろきいろどの花見てもきれいだな―と子供からお年寄りまでチューリップを見ると必ず歌い出してしまいます。そして歌う人は笑顔になり、幸せな気持ちになります。とても素直な表現で大変良い句になりました。

春の月夜空にひかるランプだね 大垣市 伊藤 美紅(小三)

本来、月と言えば秋の季語です。秋の月は夜空にくつきりと鮮明に見えて大変きれいです。そんな秋の月に比べると春の月は、空气中に水分が多いため、少しぼんやりとかすんで見えません。春の夜空に浮かぶ月をよく観察しましたね。月がまるでランプの光のようだというたとえが大発見でしたね。

何重も和紙重ねたようぼたんの花 大垣市 糺矢 みう(小六)

庭に咲いたぼたんでしょうか。それとも家族の人達とぼたん園に出かけて見かけたのでしょうか。まず大きく咲いたぼたんを見てびっくりしましたね。さらに近づいて花びらの一枚一枚に目がいき、強いおどろきを感じたのが伝わってきました。ぼたんのその端正な姿は古くから詩歌や絵画の題材とされてきました。大輪になると二十センチ以上にもなります。優雅に咲く大輪の花びらがせんさいな和紙の質感と重なって見えたのですね。作者の心も美しいですね。

秀逸

春風は花のかおりのゆうびんや 大垣市 山田 悠月(小五)

あんなふうに大きくなりたい桜の木 美濃加茂市 高山 慎吾(中三)

妹の結婚指輪はタンポポだ 美濃加茂市 藤吉 優奈(中二)

菜の花や小学校の昼げ時 美濃加茂市 マリアノネルリン(中三)

せせらぎの音に混じりて蛍飛ぶ 美濃加茂市 岩永 正徳(中三)

夜の道月光あたる桜かな 美濃加茂市 荻谷 歩花(中三)

さてきょうははるのずかんをよもうかな 大垣市 西村 結羽(小二)

五月晴れ今日のふとんは良いにおい 大垣市 名畑 高祐(小六)

青空にしぶきをあげるこいのぼり 大垣市 ふじい きゆう(小三)

たんぼぼのわたげがくつにまいおる 大垣市 多和田 芽依(小五)

入選

その言葉笑顔のようにあたたかい 美濃加茂市 篠田 美結(中三)
 祝福の桜の雨が降りそそぐ 美濃加茂市 高林 恭平(中三)
 眠くても鉛筆もってる受験生 美濃加茂市 安江 浩睦(中三)
 僕達はつくしのように背が伸びる 美濃加茂市 間宮 浩輝(中三)
 水面に写り込んでる朧月 美濃加茂市 佐藤 拓美(中三)
 汗かいてひたすら走る朝部活 美濃加茂市 金子 由奈(中三)
 春の風おされるままに君に合う 美濃加茂市 丸山 昂紀(中三)
 君に似たほほの色したチューリップ 美濃加茂市 中西 詩織(中三)
 ランドセルだんだんおもたくなってきた 大垣市 高田 琴心(小三)
 こいのぼりとなりのにわからのぞいてる 大垣市 仙石 柑奈(小二)

入選

ふじの花ジャンプをしたらとどくかな 大垣市 河合 俐空(小二)
 しんりよくの山をこえたらじいちゃんち 大垣市 ふじわら ゆら(小三)
 さつきばれおはやしの音軸が来た 大垣市 小林 りん子(小四)
 ひまわりやしようじよのこいはまっしぐら 大垣市 水谷 埜亜(小四)
 母の日に私が小さなお母さん 大垣市 松岡 朋葉(小四)
 ベランダで小さく泳ぐこいのぼり 大垣市 中村 しゅんと(小五)
 道ぞいに映える紅白ハナミズキ 大垣市 横田 七香(小五)
 新クラスみんなの名前名字よび 大垣市 富永 実希(小五)
 マフラーはもういらなないがねんのため 大垣市 米山 あい(小五)
 夏の空神宮めざし自主練習 大垣市 傍島 倫(小六)
 しらさぎがかわにとまってえものまつ 大垣市 内藤 義貴(小六)

選者吟

うららかや駄菓子屋に出る当りくじ

よちゑ